

= 公園の植物 =

ツユクサ (ツユクサ科 ツユクサ属)



花弁は3枚、上の2枚が青く大きいのが特徴的で下の1枚は白く小さくて目立たない。早朝に咲いた花は午後にはしぼんでしまうことから、儂さの象徴として万葉の時代から歌人たちに愛され詠まれている。花の時期は6~8月だが、俳諧では秋の季語になっている。花弁の青い色が「付」きやすいことから古くは「付き草」と呼ばれ、「ツキクサ」→「ツユクサ」に変化したといわれる。

別名、花の形から「蛭草」「帽子花」「青花」。